

# 行きたいときどこへ、行きたい所へ

## 「デマンド方式」によるバスの運行(北本市)

自走車や自転車に乗って移動することが困難であり、かつバス路線から外れた地域に住む高齢者や障害者にとって、移動手段の確保は死活問題といっても過言ではありません。今回は、乗客の予約によって臨機応変に経路を組む「デマンド方式」のバス(以下「デマンドバス」)の取り組みについて北本市に取材し、今後の公共交通の在り方について考えます。

### 1 百間は二見にしかず いざ乗車!

文化センター前で待つこと数分、グレーのワゴン車がロータリーに滑り込んで来ました。車体側面には「きたもとデマンドバス」の文字。この車が、本日体験乗車をさせていただく北本市デマンドバスです。ドライバーの大熊勇さんがドアを開け、招き入れてくれました。

#### 東奔西走!

デマンドバスは、乗客の予約によって運行スケジュールを決めるため、同じ運行ルートの日は1日としてありません。この日の午後の最初のお客さんはAさん。受診後のAさんを病院から自宅までお送りしました。Aさんには視覚障害がありますが、大熊さんの介助で乗降は非常にスムーズ。降車時に定額料金の3000円を受け取りました。



12人乗りのワゴン車を使用しています。



住宅地を縫うように走るデマンドバス。

室が開発したシステム「コンビニクル」の携帯端末。1日あたり平均40名の乗客を漏れなく目的地まで送り届けます。



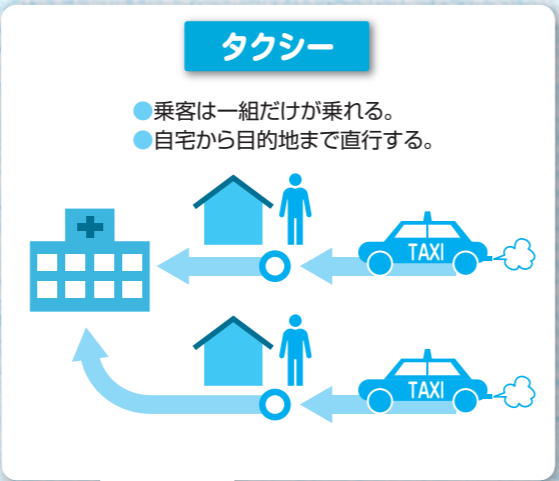
音声と画像で次々に指示を出す「コンビニクル」の携帯端末。

#### 気を付けておれい

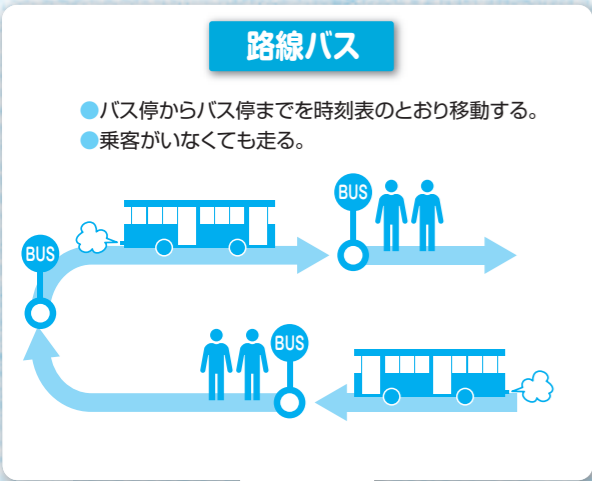
「特に気を付けているのは迎えに行く時間です」とドライバーの大熊さん。「お年寄りですと、こちらに気を使って約束の時間のだいぶ前から乗降場でお待ちになっていることもあり、この暑さですから、待っている間に体調を崩さないとも限りません。そのようなことのないよう、少しでも早めに迎えに行けるよう心がけています」と語ってくれました。

### 2 デマンドバスって何?

デマンドバスとは、タクシーの便利さと路線バスの手軽さを併せ持った新しい公共交通です。利用するには事前の利用者登録と予約が必要です。



- 乗客は一組だけが乗れる。
- 自宅から目的地まで直行する。

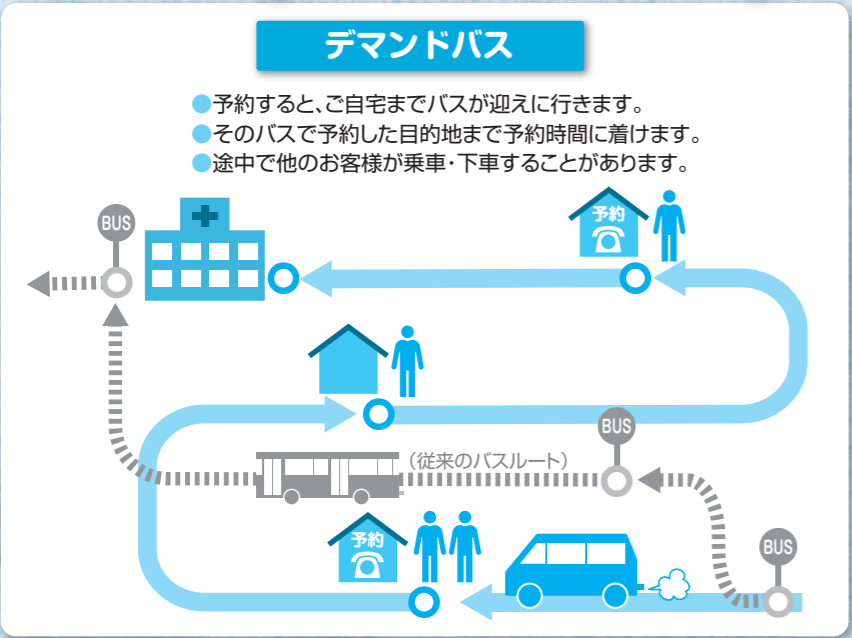


- バス停からバス停までを時刻表のとおり移動する。
- 乗客がいなくても走る。

### 3 導入のきっかけと今後の課題

#### 北本市政策推進課 主幹 二橋浩範さん

当初は循環バスの導入を考えていましたが、市長からデマンド方式を検討するよう指示を受け、1年の検討と3か月のテスト運行を経て、ようやく今年の実証運行(1年間の試行)にこぎつけました。循環方式とデマンド方式はそれぞれ一長一短ですが、当市ではデマンド方式の方が財政的に負担が軽く、また利用者個々の満足度が高いと判断し、導入



- 予約すると、ご自宅までバスが迎えに行きます。
- そのバスで予約した目的地まで予約時間に着けます。
- 途中で他のお客様が乗車・下車することがあります。

(北本市ホームページを参考に作成)

### 4 まとめ

現在、各地で公共交通の活性化に向けた様々な取り組みが進められていますが、新たな仕組みの導入は交通事業者だけの努力だけでは難しく、市町村等の自治体为中心的な役割を担うことが期待されています。そして、住民、商業施設、病院及び施設といった様々な関係者の積極的な参画によって移動困難者の生活は保障されていきます。移動困難な生活課題を抱える人のニーズを踏まえ、その地域の実情にあった交通システムの構築が期待されます。